

資料 1. 部会における議論

第1回 強い産業づくり部会（石川県産業振興指針検討委員会）

1. 開催日時 令和4年10月27日(木) 10:00～12:00

2. 委員名簿（敬称略・五十音順）

座長	和田 隆志	公益社団法人大学コンソーシアム石川会長			
委員 (代)	安宅 建樹	石川県商工会議所連合会会長	(代)	田上 好道	石川県商工会連合会会長
	岩本 秀成	ダイヤ通信株式会社代表取締役社長		丹 康雄	北陸先端科学技術大学院大学副学長
	遠藤 幸四郎	一般社団法人石川県繊維協会会長		杖村 修司	一般社団法人石川県銀行協会会長
	蚊谷 八郎	石川県伝統産業振興協議会会長		中村 健一	一般社団法人石川県鉄工機電協会会長
(欠)	北野 ゆかり	石川県商工会女性部連合会会長		成田 由里	株式会社ウーマンスタイル代表取締役
	高 由紀	ウィルフラップ株式会社取締役会長		長谷川 孝徳	地域文化総合研究所代表
	小清水 良次	一般社団法人石川県情報システム工業会会長		平本 督太郎	金沢工業大学SDGs推進センター所長
	佐無田 光	金沢大学学長補佐（社会共創推進担当）		福田 佳央	日本労働組合総連合会石川県連合会会長
	沢野 千穂子	石川県商工会議所女性会連合会会長		細野 昭雄	株式会社アイ・オー・データ機器代表取締役会長
	杉野 哲也	一般社団法人石川県食品協会会長		安江 雪菜	株式会社計画情報研究所代表取締役社長
	砂塚 隆広	一般社団法人金沢経済同友会代表幹事		米川 達也	株式会社白山代表取締役社長
	高松 喜与志	一般社団法人石川県経営者協会会長	(代)	米沢 寛	石川県中小企業団体中央会副会長

※欠席された委員には、会議前後に別途意見を確認

3. 議事内容

- ・社会経済環境の変化を踏まえた課題認識など

4. 部会における議論

- ・企業の規模やニーズ、段階に応じたデジタル化への支援や、さらにレベルの高いDXを推進していくべき
- ・グリーン化には、官民連携で取り組むべきであり、成長分野への積極的な投資を進めるべき
- ・人材の確保には、学生の県内就職やUIターン促進、副業等人材の活用、外国人材の活躍などが有効。また、デジタルやグリーンなどの成長分野に関するリスクリングを進めるべき
- ・スタートアップの推進や新技術の社会実装に向けて、産官学金での新たな連携の仕組みが必要
- ・伝統工芸など地域資源を活かした新製品開発によって新たな価値が生まれ、文化の裾野の広がりにもつながる
- ・高齢で後継者がいない自主廃業が増加しており、産業の活力を維持するためには事業承継を推進すべき
- ・県民、企業にわかりやすいよう10年後の産業のありたい姿を示し、バックキャストの視点で検討すべき
- ・10年後を見据えたKPIを設定し、検証しながら進めていくべき

第2回 強い産業づくり部会（石川県産業振興指針検討委員会）

1. 開催日時 令和5年1月31日(火) 14:00～16:00

2. 委員名簿（敬称略・五十音順）

座長	和田 隆志	公益社団法人大学コンソーシアム石川会長			
委員	安宅 建樹	石川県商工会議所連合会会長		田上 好道	石川県商工会連合会会長
	岩本 秀成	ダイワ通信株式会社代表取締役社長		丹 康雄	北陸先端科学技術大学院大学副学長
	打本 渉	株式会社月星製作所代表取締役社長		杖村 修司	一般社団法人石川県銀行協会会長
	遠藤 幸四郎	一般社団法人石川県繊維協会会長		中村 健一	一般社団法人石川県鉄工機電協会会長
(欠)	蚊谷 八郎	石川県伝統産業振興協議会会長	(欠)	成田 由里	株式会社ウーマンスタイル代表取締役
	北野 ゆかり	石川県商工会女性部連合会会長		長谷川 孝徳	地域文化総合研究所代表
	高 由紀	ウィルフラップ株式会社取締役会長		平本 督太郎	金沢工業大学SDGs推進センター所長
	小清水 良次	一般社団法人石川県情報システム工業会会長		福田 佳央	日本労働組合総連合会石川県連合会会長
	佐無田 光	金沢大学学長補佐（社会共創推進担当）		細野 昭雄	株式会社アイ・オー・データ機器代表取締役会長
	沢野 千穂子	石川県商工会議所女性会連合会会長		安江 雪菜	株式会社計画情報研究所代表取締役社長
(代)	杉野 哲也	一般社団法人石川県食品協会会長		保川 高司	株式会社小松製作所執行役員生産本部粟津工場長
(欠)	砂塚 隆広	一般社団法人金沢経済同友会代表幹事	(欠)	米川 達也	株式会社白山代表取締役社長
	高松 喜与志	一般社団法人石川県経営者協会会長		米沢 寛	石川県中小企業団体中央会副会長

※欠席された委員には、会議前後に別途意見を確認

3. 議事内容

・産業振興に関する施策の方向性（石川県産業振興指針骨子案）

⇒DXの推進、GXの推進、産業を支える人材の確保・育成、新事業・新産業の創出、国内外への販路開拓・魅力発信、
中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化、企業等の戦略的誘致

4. 部会における議論

- ・10年後のイメージを県民や企業にできるかぎりわかりやすく示すべきではないか。また、GDPだけでなく幸福度等の指標も重要ではないか。それらに向けて、タイムラインを設定して、取り組んでいくべき
- ・高等教育機関の集積を活かし、それぞれの分野での産学官金連携を進めるべきであり、それぞれの間をつなぐ人材や手法があるとよい
- ・県全体の成長戦略と連動した産業振興となるよう、縦割りではなく、他部局との連携を深めてほしい
- ・観光やものづくりなどにおいて北陸三県が連携するなど、広域的な取組も検討すべき

持続可能な社会・成長する農林水産業づくり部会

1. 開催日時

令和4年11月30日(水) 13:00~15:00

2. 委員名簿 (敬称略・五十音順)

座長 早川 和一 金沢大学名誉教授

委員 池本 良子 金沢大学名誉教授

小坂 勇治 株式会社中東代表取締役社長

近藤 安爲 石川県森林組合連合会代表理事会長

笹原 丈光 石川県漁業協同組合代表理事組合長

嶋崎 正朗 石川県漁業協同組合副組合長理事

西沢 耕一 石川県農業協同組合中央会代表理事会長

(欠) 西澤 直子 石川県立大学学長 ※書面意見

佛田 利弘 石川県農業法人協会会長

3. 部会における議論

- ・自然・歴史・文化・伝統などの特徴を生かし、それらと共存したカーボンニュートラルを目指すべき
- ・若者にとって魅力があり、科学的知見に基づいて環境に配慮した農林水産業の実現と、グリーンイノベーションをけん引する人材育成の仕組みづくりを進めるべき
- ・豊かな海や水、空気を農林水産物のブランド化や消費者へのPRに活かすべき
- ・農林水産業の担い手の確保・育成のため、所得確保に取り組むとともに、県内の高校・大学との連携を強化すべき
- ・若い人材の確保、収益向上のため、農林水産業においてもドローンの活用などのデジタル化を進めるべき
- ・需要が減少する米の生産者が大半を占めており、どうやって所得を向上させていくか考えるべき
- ・県産材の安定供給のための人材確保や製材施設等の整備とあわせ、製材くずを活用したバイオマス発電など、資源を有効活用する取り組みを進めるべき
- ・持続可能な漁業経営の確立のため、漁港についても環境に配慮した施設とするべき

個性豊かな地域づくり部会

1. 開催日時

令和4年11月30日(水) 15:00～17:00

2. 委員名簿 (敬称略・五十音順)

座長	水野 一郎	金沢工業大学教育支援機構教授			
委員	伊藤 数子	特定非営利活動法人STAND代表理事	中巳出 理	株式会社Ante代表取締役	
	井村 辰二郎	株式会社金沢大地代表取締役	西川 圭史	株式会社石川ツエーゲン代表取締役GM	
	岩城 慶太郎	アステナホールディングス株式会社代表取締役社長	早川 和良	石川県観光総合プロデューサー	
	唐澤 昌宏	国立工芸館長	平出 昌広	一般社団法人日本旅行業協会 中部支部石川地区委員会委員長	
	興津 泰則	DIBC Office KYOZU代表	(欠)	丸山 章子	金沢学院大学スポーツ科学部教授 ※書面意見
	久保 幸男	一般財団法人石川県芸術文化協会理事長			公益財団法人石川県スポーツ協会理事
	志村 恵	金沢大学副学長(国際担当)		水本 協子	石川地域づくり協会運営副委員長
	しもおき ひろこ	フードコーディネーター			
	高峰 博保	一般社団法人能登定住・交流機構代表理事 加賀白山定住機構事務局長			

3. 部会における議論

- ・文化活動の活性化には、**文化を支える民間団体の活動を尊重しつつ、新たな価値の創造の支援**が重要
- ・**スポーツも文化であり、人々の生活を豊かにするもの**であるため、**個性として磨き上げていくべき**
- ・観光振興のためには、食や文化などの**魅力ある資源の活用**や**掘り起こし**、**地域の人との交流**が重要
- ・**地域の活力を向上し、移住を促進**するためには、新しい産業を創出できる**創造人材の誘致**が重要
- ・個性豊かな地域をつくるのは人であり、**個性豊かな人材の育成**や**多様な人々による協働や連携**が重要
- ・LGBTQや留学生、外国を背景に持つ方を含む**県民一人一人が大事にされる地域づくり**を目指すべき

温もりのある社会・人づくり部会

1. 開催日時

令和4年11月28日(月) 10:00～12:00

2. 委員名簿 (敬称略・五十音順)

座長 八重澤 美知子 金沢大学名誉教授

委員 宇田 直人 石川県PTA連合会会長

桑村 佐和子 金沢美術工芸大学一般教育等教授

(代) 田中 弘幸 社会福祉法人石川県身体障害者団体
連合会会長

中田 実千世 社会福祉法人石川県社会福祉協議会
保育部会保育士会会長

中村 義治 石川県高等学校長協会会長

西村 依子 石川県人権擁護委員連合会会長

野口 弘 石川県市町教育委員会連合会会長

長谷川 由香 子育て向上委員会代表

(欠) 眞鍋 知子 金沢大学融合研究域教授

南 眞次 社会福祉法人石川県社会福祉協議会
石川県社会福祉法人経営者協議会会長

向 孝志 石川県私立中学高等学校協会会長

安田 健二 公益社団法人石川県医師会会長

柳 幸枝 石川県婦人団体協議会副会長

3. 部会における議論

- ・**医師の地域偏在**は、診療科により異なるため、**それぞれの診療科に応じて対応**すべき
- ・**子育て支援**は、安心して子どもを産み育てることができる**環境づくり**や、**若い世代への経済的支援**が必要
- ・**介護職員の不足**に対応するため、**介護人材の処遇改善**や**外国人材の活用**に取り組むべき
- ・**学校における人権教育**は、若い時期に全員が学ぶという意味で大切であるため、**もっと重視**すべき
- ・**差別や偏見のない社会**に向けて、女性、子ども、高齢者、障害のある人などに対する支援をより充実すべき。
今後、**LGBTQ**の方々に対する理解増進に向けて力を注いでいくことも大事
- ・**不登校の児童生徒**への対応は、**子どもたちの受け皿づくり**に加え、**保護者への支援**が重要

安全・安心な地域づくり部会

1. 開催日時

令和4年11月28日(月) 10:00~12:00

2. 委員名簿 (敬称略・五十音順)

座長 高山 純一 公立小松大学サステイナブルシステム科学研究科教授

委員 (欠) 大月 真由美	特定非営利活動法人石川県 防災士会副理事長	(代) 永山 憲三	公益社団法人石川県防犯協会連合会会長
小藤 幹恵	公益社団法人石川県看護協会会長	鍋谷 有介	公益財団法人石川県消防協会会長
菅沼 直樹	金沢大学高度モビリティ研究所教授	馬場先 恵子	金沢学院大学基礎教育機構教授
(代) 中川 一成	石川県町会区長会連合会会長	平櫻 保	一般社団法人石川県建設業協会会長

3. 部会における議論

- ・安全・安心な地域づくりのため、**平常時と非常時の両面でどのように対応するか**検討すべき
- ・生活弱者や、交通弱者、災害弱者など**弱い立場の方を意識したユニバーサルな対策**をすすめることが重要
- ・安全・安心な地域づくりを進める上で、遠くにいる知り合いよりも、**地域における顔の見える関係性が重要**
- ・**災害時に**、報道がされていない地域の情報があるため、**SNSの情報を集約し、発信**すべき
- ・インフラ基盤の経年劣化が進行しているため、しっかりと**長寿命化対策**を図っていく必要
- ・**デジタル技術を積極的に活用**し、鉄道やバスなどの**交通機関の連携が円滑に図られるよう**取り組むべき